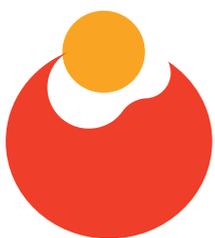


変わらず、変える

雲南市 市勢要覧

2025



雲南市



ごあいさつ

Greetings

雲南市は、中国山地の雄大な自然に抱かれた、神話と歴史が息づくまちです。日本さくら名所100選に選ばれた斐伊川堤防の桜並木の絶景や、日本の滝100選の龍頭が滝、八重滝の雄大な姿、そして棚田百選に認定された山王寺の棚田の美しい風景など、四季折々の自然美を楽しむことができます。

また、ヤマタノオロチ伝説をはじめとする出雲神話ゆかりの地や、一度に全国最多の39個の銅鐸（国宝）が出土した加茂岩倉遺跡、国の重要有形民俗文化財である菅谷たたら山内など、歴史ファンも満足できる魅力が満載です。

令和6年に市制施行20周年を迎えた雲南市は誕生以来、市民との協働を基本に地域の特性を生かしたまちづくりを進めてまいりました。

そして、地域が抱える社会課題の解決に向けた取り組みが市内各地で展開されており、それらの取り組みを支え進める条例「雲南市チャレンジ推進条例」を定め「日本一チャレンジにやさしいまち」としてさまざまなチャレンジを積極的に推進しています。

雲南市には「人と人とのつながり」、「自然と調和した暮らし」、「豊かな歴史と文化」など、先人から受け継いだ魅力があります。新たに策定した「第3次雲南市総合計画」ではこうした魅力を次世代につないでいくためにも、新しい発想で変えるべきものを変えていく「変わらず変える」を基本理念としました。将来像「ウエル「えすこな 雲南市 ~ ビーイング Well-being for all フォー UNNAN オール（うんなんみんなが幸せに暮らせるまち）~」をめざし持続可能なまちづくりを進めます。

田舎暮らしの本「住みたい田舎ベストランキング」においては、同じ人口規模の市町村の中で「若者世代・単身者」部門で全国第1位に選ばれ、部門を変えつつ4年連続で全国第1位を獲得しました。

豊かな自然に囲まれ、神話や伝承、地域の絆や人と人とのつながりが残る雲南市の豊富な地域資源を生かし、心豊かに暮らせる環境をつくるため、一步一步力強くまちづくりを進めてまいります。

雲南市長 石飛厚志



雲南市プロフィール

PROFILE

地勢

TOPOGRAPHY

島根県の東部に位置し、面積は 553.18 km²です。北部は出雲平野や宍道湖が広がる松江市、出雲市と接し、南部に中国山地が連なり、広島県に接しています。

市内には、一級河川の斐伊川と支流の赤川・三刀屋川・久野川などのほか、神戸川に注ぐ稗原川、波多川が流れています。このため、加茂町から大東町、木次町、三刀屋町にかけ、斐伊川と赤川、三刀屋川の合流地点を中心に平坦部が広がっていますが、南部は中国山地に至る広範な山間部となっています。

人口

POPULATION

雲南市の人口は、令和 2 年国勢調査によると 36,007 人で、平成 27 年国勢調査と比較すると 3,025 人 (7.8%) 減少し、うち 65 歳以上の高齢人口が占める割合は 40.1% と、年々高齢化が進んでいます。年齢別人口構成は、少子高齢化が進み、平成 2 年には高齢化率が年少人口割合を上回り、令和 2 年には年少人口割合は 11.2% となっています。

歴史

HISTORY

市内各地に神話や伝説が残り、多くの遺跡や古墳が発掘され、平成 8 年 10 月には 1 ヶ所の出土としては全国最多となる 39 個の銅鐸が加茂岩倉遺跡から出土しています。

市の中央を縦断する斐伊川は、ヤマタノオロチ伝説でも知られ、古くから支流周辺の低地では農耕が営まれ、また、山間部ではたたら製鉄や炭焼きが盛んに行われてきました。



加茂岩倉遺跡から出土した銅鐸(加茂)



須我神社(大東)

産業

INDUSTRY

【農 林 業】 有機農業への先駆的な取り組みから安全・安心な米や畜産、野菜、花き栽培など良質な農畜産物が生産され、平成 10 年から続く島根県農業協同組合と連携した農産物の産直のほか、乳製品やワインなどの多彩な加工品も作られています。林業では、森林資源の調査を行い効率的な

施業を進め、2ヵ所の木材流通拠点施設を核とした販路の拡大と商品開発の推進や公共建築物、木質チップボイラーで市産材を利用することで森林整備を推進しています。

【工 業】 加茂町・木次町等に企業団地が整備されており、誘致企業をはじめとする事業所が立地しています。特に木次町に一般機械製造業、電気機械製造業等の集積が進んでおり、令和 3 年経済センサス活動調査の製造品出荷額は県内第 4 位となっています。また、市内にはコワーキングスペースが整備され、IT 系事務職場の誘致にも取り組んでいます。

【商 業】 消費の市外流出によって、地域商業の減退が進んでいることから、中心市街地活性化事業に取り組み、新たな商業集積施設「コトリエット」がオープンし、令和 7 年夏頃にビジネスホテルが開業する予定です。また、市内での起業創業に対する支援を行うとともに、市内事業者の販路拡大に向けた取り組みを進め、地域商業の新たな活気づくりに取り組んでいます。

【観 光】 日本さくら名所 100 選の「斐伊川堤防桜並木」をはじめ 2 月下旬から 4 月上旬まで楽しめるさくら、日本の滝 100 選に選定された「龍頭が滝・八重滝」、日本の棚田百選の「山王寺の棚田」など、季節ごとに違う表情を見せる豊かな自然が体験できる観光資源が豊富にあります。また、国の重要有形民俗文化財に指定され、日本で唯一現存する「菅谷たたら高殿」や近代たたら操業が体験できる施設などでは、鉄づくりの歴史と文化を感じることができます。この他にも、いずものくに ふどき出雲國風土記に記されている古くからの温泉、自然を満喫できるキャンプ場、平和学習の拠点である永井隆記念館などの施設があります。



雲南市のブランド米「プレミアムつや姫たたら燗米」



雲南吉田木材流通拠点施設(吉田)



拡張整備を進めている神原企業団地(加茂)



中心市街地商業施設「コトリエット」(三刀屋)



棚田百選「山王寺の棚田」(大東)



日本の滝100選「八重滝」(掛合)



第3次雲南市総合計画



令和7年度から第3次雲南市総合計画がスタートしました。約2年間をかけて策定した計画は、これまでの「行政の書」から「市民の書」とするため、多くの皆さんと一緒に作り上げるプロセスを大切に、誰もが分かりやすく見やすい計画としました。

基本構想

基本理念

変わらず、変える

変わらず、大切にすること そのために勇気をもって変えること

人と人がつながるあたたかなコミュニティ。人と自然が調和した里山の暮らし。神話が息づく豊かな歴史と文化。これは、市民が共通して感じている雲南市の魅力です。

わたしたちがあたりまえに感じているこれらの魅力をよく見ると目には見えない3つの関係性が調和することによって生まれていることに気づきます。

それは「人と人」「人と自然」「人と歴史・文化」のつながりです。

孤立化や分断が進む現代にあって、これらのつながりを次世代につなぐことは私たちの責務です。

そのためには、前例にとらわれない新しい発想で、変えるべきものを変えていくことが求められます。

めざす 将来像

えすこな 雲南市

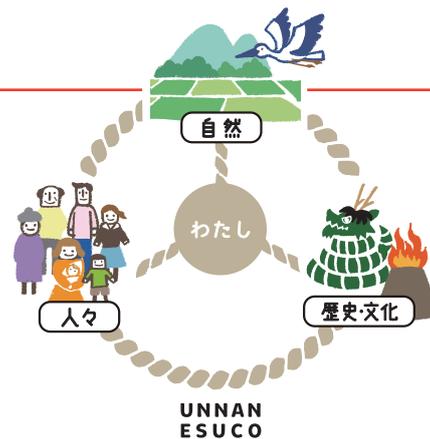
Well-being for all UNNAN
みんなが幸せに暮らせるまち

「えすこ」とは、この地域の方言で「ちょうどよい状態」、「いい具合」を意味する言葉です。

これからわたしたちが歩む未来は、さらに激しい変化と、不確実で複雑なものになると言われています。だからこそ、私たちはその時々「えすこな雲南市とは？」という問いに向かい続ける必要があります。

えすことは、「雲南らしさ」です。えすことは、「調和」です。

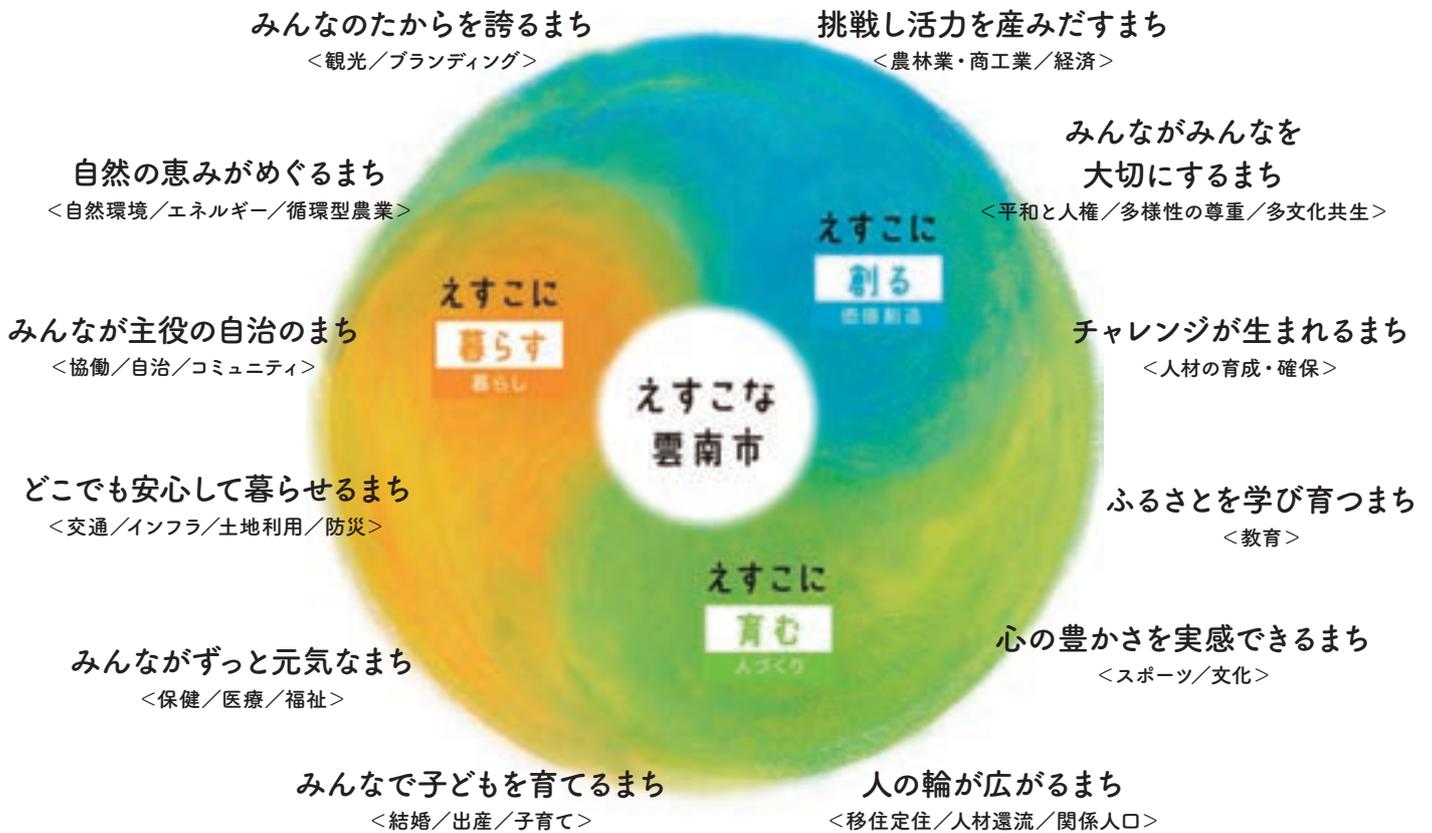
今だけ、自分だけではなく、「人と人」「人と自然」「人と歴史・文化」のつながりの中で、みんなが幸せに暮らせる持続可能なまちの実現をめざします。



基本計画

えすこな雲南市の実現に向けた3つの柱と12の施策

市民の皆さんからの意見をまとめていくと、えすこに「暮らす」、えすこに「育む」、えすこに「創る」の3つの言葉になりました。それら3つの言葉を柱(観点)として共通軸に据え、「えすこな 雲南市」をよいかたちでこれからにつないでいくために分野横断で基本構想の実現を図ります。





12の施策と10年後のめざす姿

01 みんなが主役の自治のまち 〈協働／自治／コミュニティ〉

10年後のめざす姿

地域の特性や人のつながりをいかし、みんなでまちづくりが行われている。



誰一人取り残さない。
そんなつながりのある地域。

地域活動や市民活動に参加している市民の割合

70%

02 どこでも安心して暮らせるまち 〈交通／インフラ／土地利用／防災〉

10年後のめざす姿

そこに暮らす人が、住みよさ、暮らしやすさを実感している。



空き家、未利用の農地・山林が地域資源として見直され、活用されている。

住んでいる地域が安心して住みよいと感じる市民の割合

60%

05 人の輪が広がるまち 〈移住定住／人材還流／関係人口〉

10年後のめざす姿

雲南に愛着を持ち、まちづくりに関わる人の輪が広がっている。



移住者が増え、地域活動や農林業の担い手として活躍している。

人口の社会動態

+50人

Uターン者数

180人

06 心の豊かさを実感できるまち 〈スポーツ／文化〉

10年後のめざす姿

楽しみながら、自分らしい豊かな暮らしが実現できている。



地域独自の伝統芸能や行事、お祭りが継承されている。

スポーツや文化芸術に親しんでいる市民の割合

50%

09 みんながみんなを大切にするまち 〈平和と人権／多様性の尊重／多文化共生〉

10年後のめざす姿

「『平和を』の都市宣言」の精神に基づき、お互いの価値観を尊重し、みんながいきいきと安心して暮らしている。



外国人住民等も地域の一人として活動に参加している。

性別などに関係なく誰もが平等に扱われていると感じる市民の割合

80%

10 挑戦し活力を産みだすまち 〈農林業・商工業／経済〉

10年後のめざす姿

新しい発想や挑戦により稼ぐ力が高まっている。



デジタル技術の活用や高付加価値化により農業や畜産、林業の収益性がアップし、新規就業者が増えている。

市内総生産額

1,315億円

03 みんながずっと元気なまち

<保健/医療/福祉>

10年後のめざす姿

保健医療福祉の充実や支え合いにより、誰もが健やかに暮らしている。



保健・医療・福祉が一体となって住民の暮らしを支えている。

自分は健康であると感じる市民の割合

80%

04 みんなで子どもを育てるまち

<結婚/出産/子育て>

10年後のめざす姿

家族や地域の温かなつながりの中で安心して子どもを育てられている。



子どもたちが自然の中で元気に遊び回れる環境が整っている。

子育てしやすいと感じる市民の割合

80%

合計特殊出生率

1.80

07 ふるさとを学び育つまち

<教育>

10年後のめざす姿

地域の温もりの中で学び合い、ふるさと雲南を愛する人にあふれている。



学校・家庭・地域が力を合わせて子どもを育てている。ふるさと雲南の誇りが継承されている。

将来も雲南市に貢献したいと思う高校生の割合

80%

08 チャレンジが生まれるまち

<人材の育成・確保>

10年後のめざす姿

チャレンジしやすい環境が広がり、多分野で多様なチャレンジが生まれている。



誰もが自分なりのチャレンジに取り組んでいる。

チャレンジしやすいと感じる市民の割合

50%

11 みんなのたからを誇るまち

<観光/ブランディング>

10年後のめざす姿

世界に誇る歴史文化や資源を通じて国内外の雲南ファンとつながっている。



神話やたたらなどの雲南ブランドが世界に広がっている。

観光消費額

36.5億円

12 自然の恵みがめぐるまち

<自然環境/エネルギー/循環型農業>

10年後のめざす姿

自然の恵みをいかした持続可能な循環モデルが確立されている。



エネルギーとして利用できる資源の利活用がすすんでいる。

脱炭素に関する取り組みをしている市民の割合

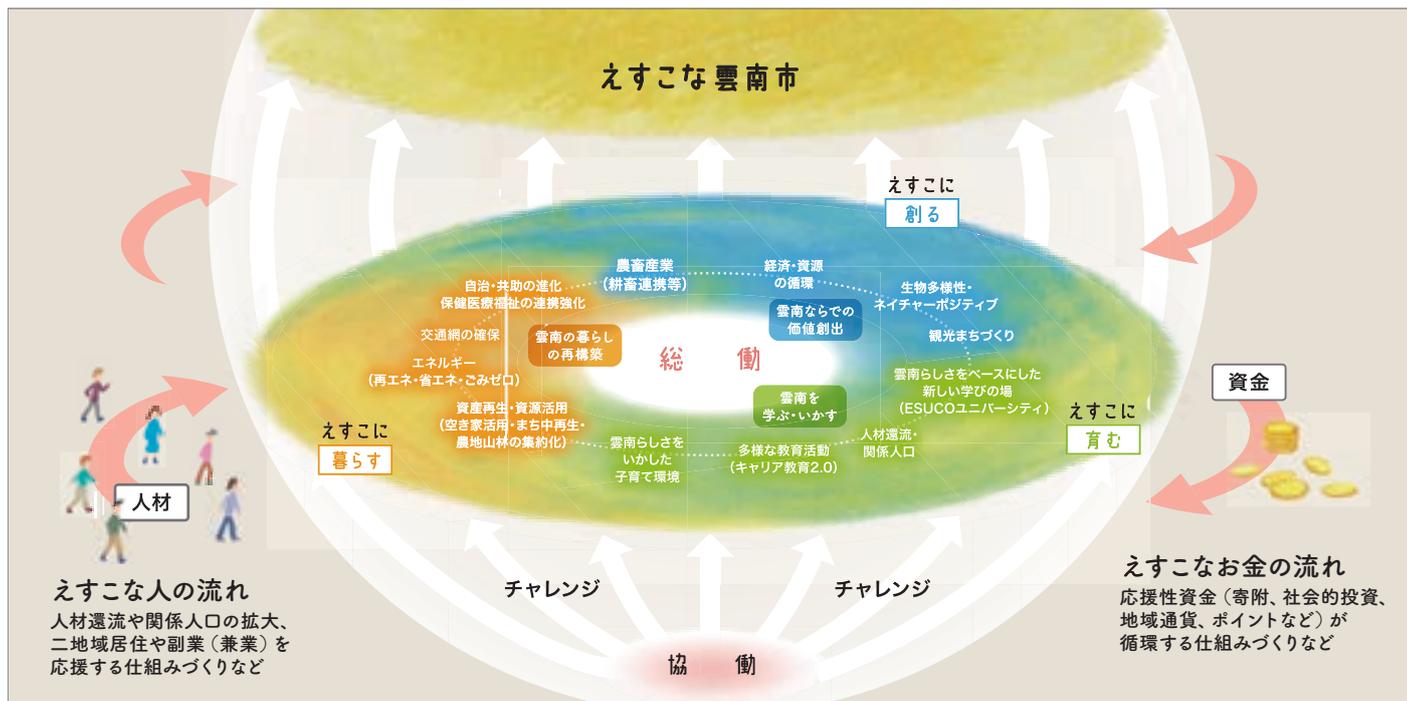
90%



「えすこな 雲南市」の実現を推進するシンボルプロジェクト

12の施策を横断して成果を高める取り組みを「シンボルプロジェクト」として展開し、これまで大切にしてきた市民との“協働”、そして各世代・さまざまな主体による“チャレンジ”をさらに発展させ、「総働[※]」のまちづくりを推進していきます。人材、資金を効果的に取り込みながら、「雲南の暮らしの再構築」「雲南を学ぶ・いかす」「雲南ならではの価値創出」を一体的に取り組みます。

※総働とは…世代や立場を超え、関係人口や資金を効果的に取り込みながら、自然環境や歴史文化、先人の知恵などのあらゆる資源をいかして多方面で多様な協働を行うこと。



〇3つの柱とシンボルプロジェクト

えすこな **暮らす**

雲南の暮らしの再構築

- 自治・共助の進化
保健医療福祉の連携強化
- 交通網の確保
- エネルギー（再エネ・省エネ・ごみゼロ）
- 資産再生・資源活用（空き家活用・まち中再生・農地山林の集約化）



市内の家庭で出た廃食油を高純度バイオディーゼルの活用

えすこな **育む**

雲南を学ぶ・いかす

- 雲南らしさをいかした子育て
- 多様な教育活動（キャリア教育2.0）
- 人材還流・関係人口
- 雲南らしさをベースにした新しい学びの場（ESUCOユニバーシティ）



サンチュ生産者と商品開発に取り組んだ高校生たち

えすこな **創る**

雲南ならではの価値創出

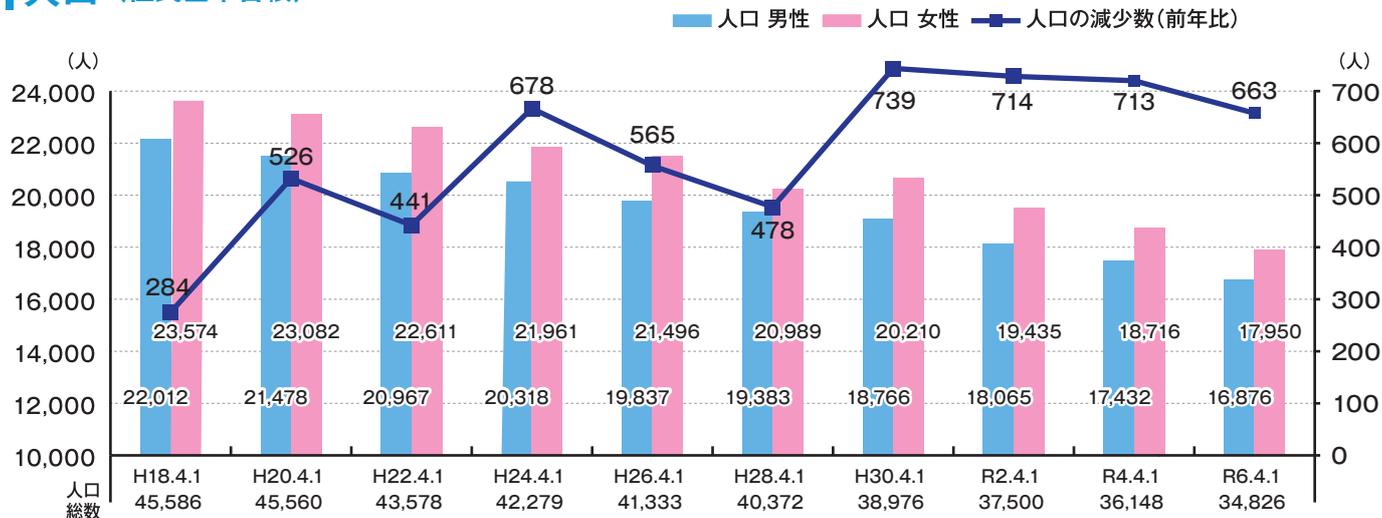
- 農畜産業（耕畜連携等）
- 経済・資源の循環
- 観光まちづくり
- 生物多様性・ネイチャーポジティブ



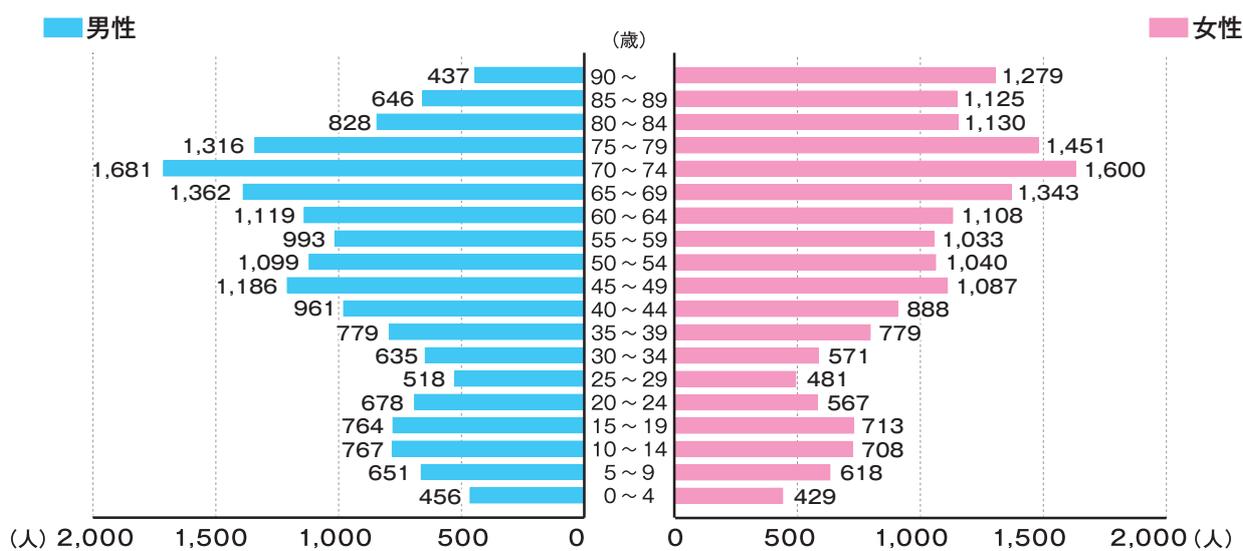
モニターツアーでの出雲神楽の上演

統計資料・グラフで見る雲南市

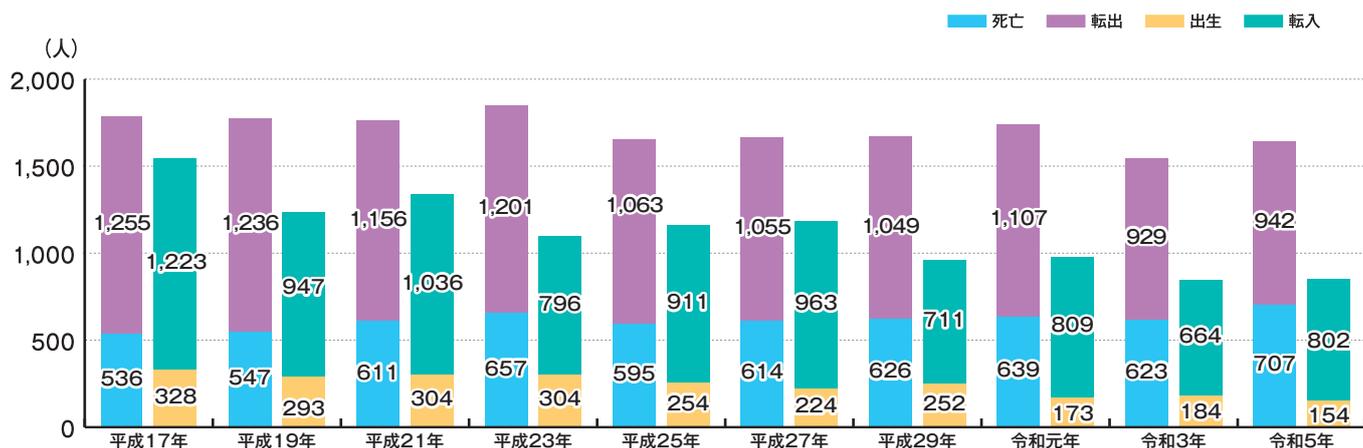
人口（住民基本台帳）



人口ピラミッド（住民基本台帳 令和6年4月1日現在）

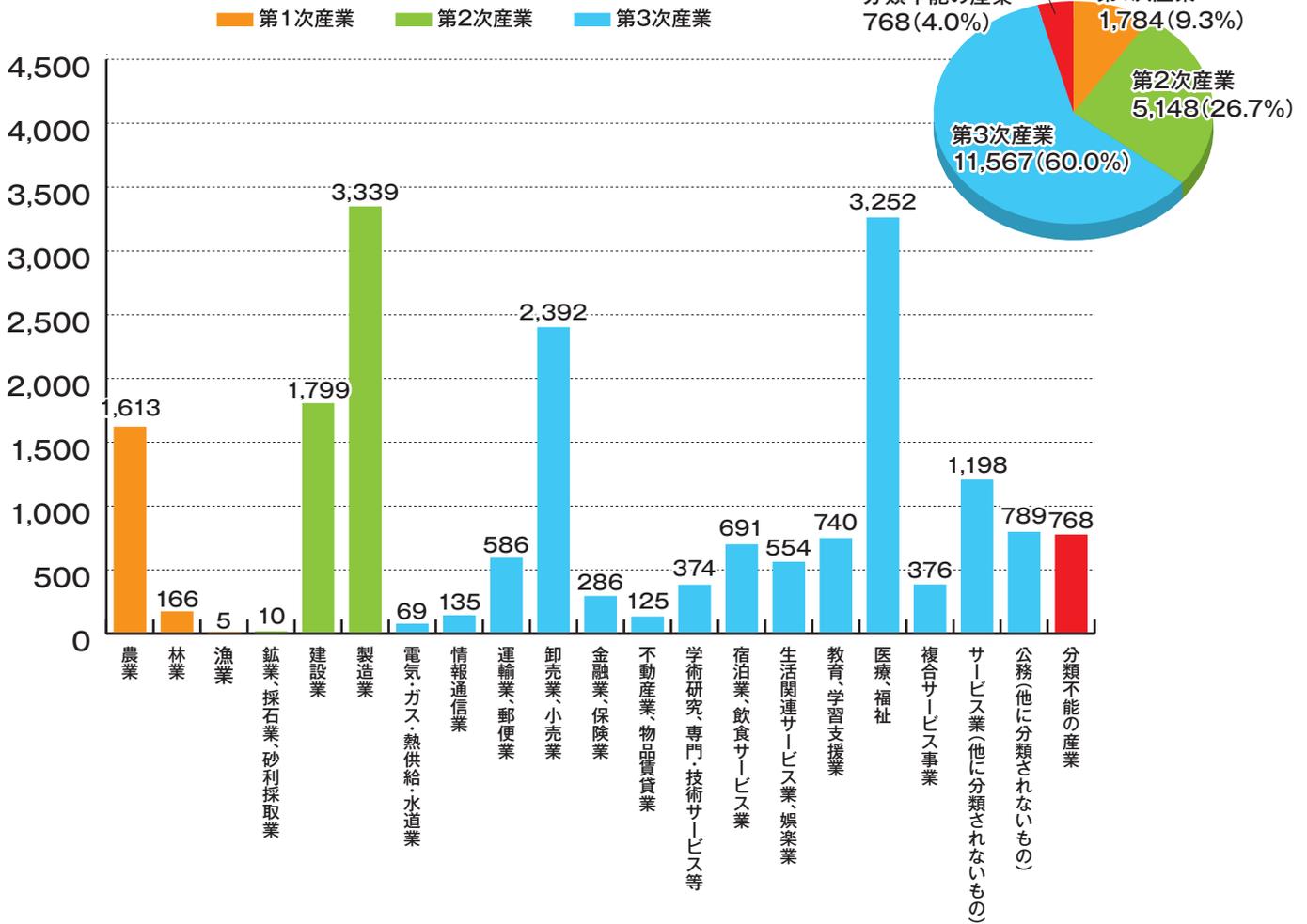


人口動態（島根県人口動態調査）



産業別従事者数 (令和2年国勢調査)

産業別従事者の割合

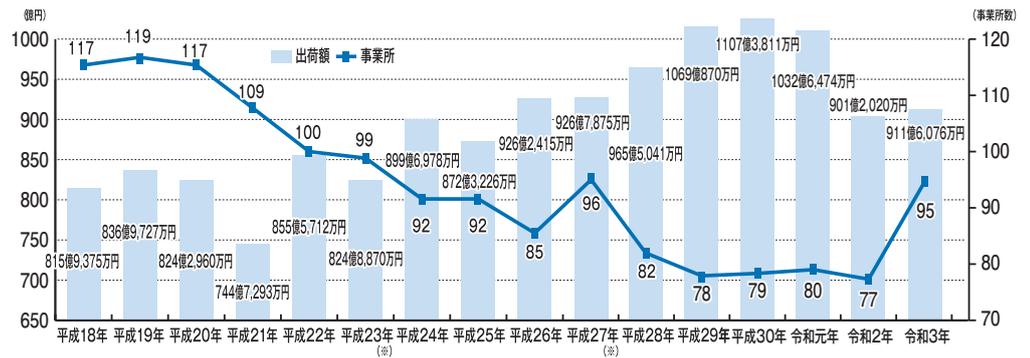


製造品出荷額等の推移

(従業員4人以上の事業所)

(工業統計調査及び平成24年、平成28年、令和3年経済センサス-活動調査、令和4年経済構造実態調査-製造業事業所調査)

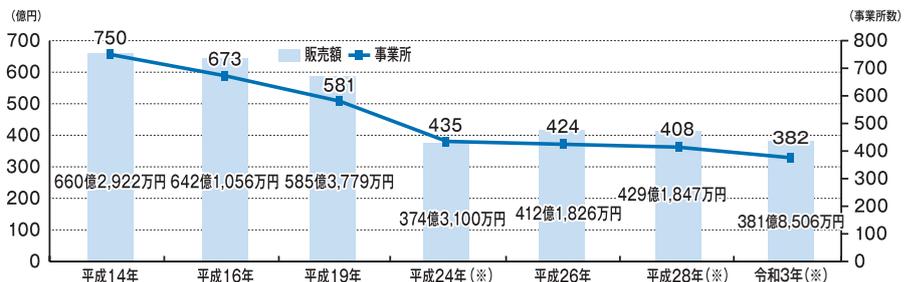
※工業統計調査が実施されていない年は、経済センサス-活動調査もしくは経済構造実態調査-製造業事業所調査の結果を参照。



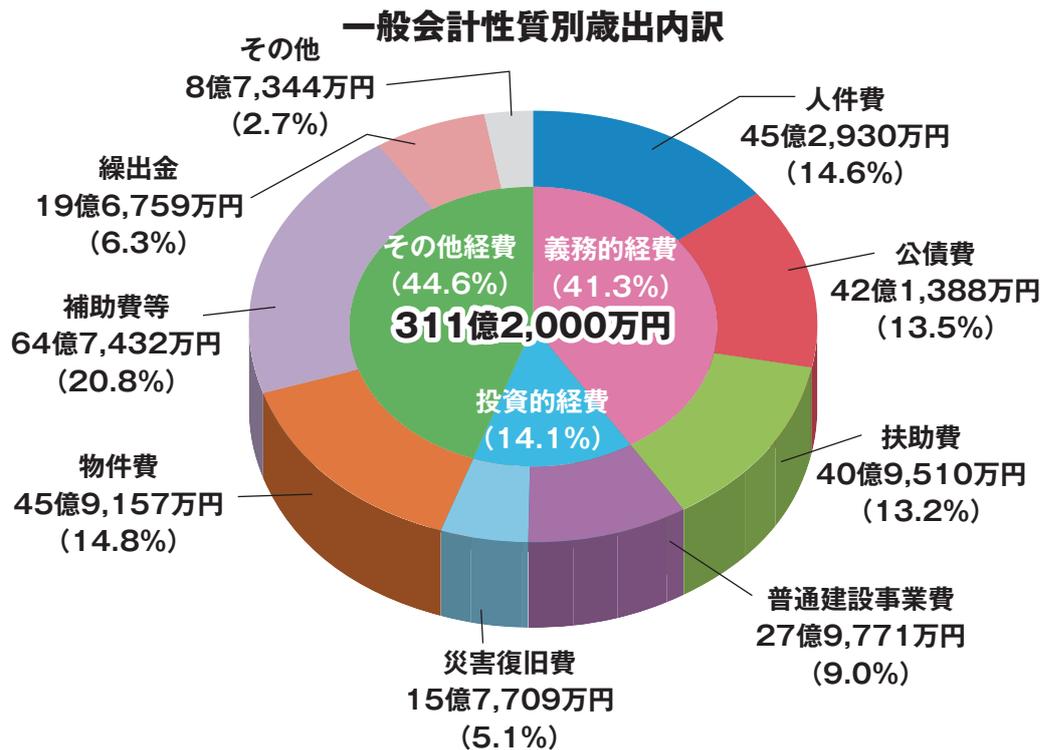
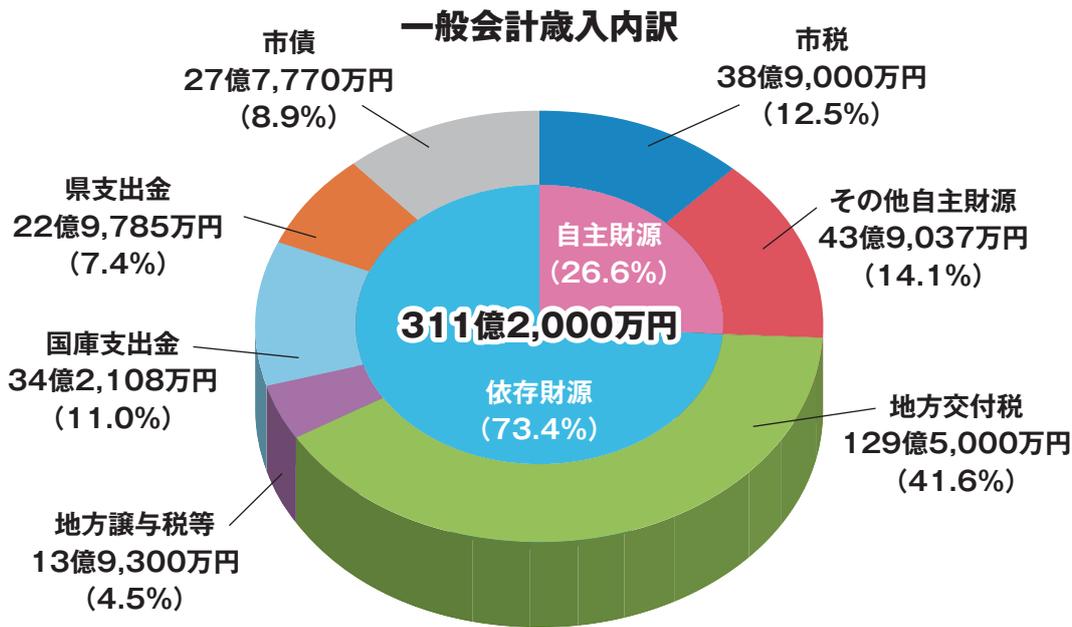
年間商品販売額等の推移

(商業統計調査及び経済センサス-活動調査)

※商業統計調査が行われていない平成24年及び平成28年、そして商業統計調査の廃止以降は、経済センサス-活動調査の結果を参照。経済センサス-活動調査の結果は、産業別に分類できない不詳事業所を除いて集計しています。



令和7年度 一般会計当初予算額



令和7年度 会計別当初予算額

会計名		令和7年度予算額	令和6年度予算額	増減額
一般会計		311億2,000万円	329億3,000万円	▲ 18億1,000万円
特別会計	国民健康保険事業	41億0,700万円	40億8,800万円	1,900万円
	後期高齢者医療事業	12億7,300万円	12億5,800万円	1,500万円
	農業労働災害共済事業	570万円	560万円	10万円
	財産区	80万円	43万円	37万円
	合計	365億0,650万円	382億8,203万円	▲ 17億7,553万円

雲南市 観光マップ

ヤマタノオロチ伝説で知られる斐伊川をはじめ、神話・伝説ゆかりの名所が各地にあり、加茂岩倉遺跡など多くの史跡や古墳も残されています。山間地では古くからたたら製鉄や炭焼きなども盛んに行われてきた歴史豊かな地域でもあります。



島根県雲南市の観光サイト「うなん旅ネット」の二次元コード



4 かもいわくらいせき 加茂岩倉遺跡

全国最多、1カ所で39個の銅鐸が発掘され、出土物が国宝に指定された本遺跡は、同じく全国最多の銅剣が出土した荒神谷遺跡(出雲市斐川町)と近いことから、古代出雲に強大な勢力が存在していたことを示しています。

1 みどり さくらぎょいごう 緑の桜 御衣黄

春、一般的な桜より遅く4月中旬から下旬にかけて、三刀屋川河畔などに、約120本の薄黄緑色の桜「御衣黄」が咲き誇ります。さわやかで気品のある色合いが貴族の衣装を彷彿とさせることからその名が付いたとされる大変に珍しい桜です。

2 ながいたかしき ねんかん 永井隆記念館

雲南市出身の永井隆博士の記念館です。長崎県で被爆しながら、身を挺して原爆傷患者の救護にあたり、病床に伏しつつも「長崎の鐘」「この子を残して」などの名著を残し、世界に「平和を」の願いを訴え続けた永井博士の遺品等を展示しています。

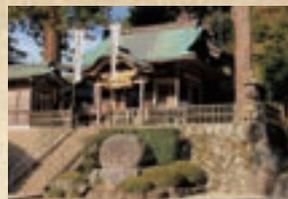
3 りゅうず たき 龍頭が滝

中国地方随一の名瀑といわれる龍頭が滝は、落差40mの雄滝と30mの雌滝からなり、近くの「八重滝」とともに「日本の滝100選」に選定されています。雄滝の裏側の岩窟から眺める滝も圧巻です。



雲南市観光キャラクター 人気アニメ「秘密結社 鷹の爪」の人気者・吉田くんは雲南市吉田町の出身で、雲南市の各地に出没しています。

吉田くん



5 すがじんじや
須我神社

スサノオノミコトがヤマタノオロチを退治し、めとったクシナダヒメとともに創建したとされる「日本初之宮」で、スサノオノミコトが「八雲立つ 出雲八重垣まごみに 八重垣つくる その八重垣を」と歌を詠んだことから、和歌発祥の地ともいわれています。



6 うしおおんせん
海潮温泉

斐伊川の支流、赤川の谷あいにある名泉で、約1,300年前の「出雲國風土記」にもその名がうかがえる歴史ある温泉です。泉質はナトリウム-硫酸塩・塩化物泉で、神経痛などに効能があるとされています。



7 ひいかわていぼうさくらなみき
斐伊川堤防桜並木

「日本さくら名所100選」に認定された中国地方有数の桜の名所で、約2kmにおよぶ800本の桜のトンネルが楽しめます。樹齢80年以上の古木も多いため、桜の専門家「桜守(さくらもり)」が丹念に桜を手入れしています。

奥出雲町



8 いずも ゆむらおんせん
出雲湯村温泉

「出雲國風土記」に、「漆仁(しつに)の川辺に薬湯あり 一たび湯浴みすればすなわち身体和らぎ、再びすすげばすなわち万病消える」とあり、古くから効能の高い秘湯として有名です。泉質はアルカリ単純温泉で、切り傷、火傷、皮膚病などに効能があるとされています。



9 すがや さんない
菅谷たたら山内

映画「もののけ姫」の「タタラ場」のモデルになった場所で、日本遺産「出雲國たたら風土記」の構成文化財の一つです。日本古来の鉄づくり「たたら製鉄」の拠点が往時の姿のまま残っています。平成24年から始まった保存修理工事が終わり、令和5年4月にフルオープン。



ラッピング列車「しんわ」(左)、「たなだ」(右)

10 きすきせん
木次線

つき
次へつなごう、きすきせん
RAIL is BATON.

ヤマタノオロチ神話ゆかりの斐伊川沿線の新線から、紅葉、雪景色まで豊かな自然を満喫できる路線です。

令和5年1月から沿線を表す「さくら」、「しんわ」、「たなだ」、「たたら」の色彩やかな列車が走っています。令和6年4月から新たに、観光列車「あめつち」の運行区間になりました。



観光列車「あめつち」

VRで体験する



都市宣言

◆「平和を」の都市宣言 (平成17年11月3日)

◆雲南市男女共同参画都市宣言 (平成25年11月30日)

◆うんなん健康都市宣言 (平成26年11月1日)



市章

平成16年11月1日制定

雲南市の「U」をモチーフに、「いきいきとした自然・人・街(ふるさと)」「生命と神話が息づく新しい日本のふるさと」をイメージし、全体として、未来に向かって躍動・発展する雲南市を力強く表現しています。

全国公募により、1,480点のデザインの中から、住民アンケートを経て選定されました。



市の花

さくら

バラ科サクラ属
平成18年12月21日制定

【選定理由】日本さくら名所100選に選定された「斐伊川堤防桜並木」は、中国地方随一の桜の名所として花の見頃には、多くの観光客でにぎわい、その名を馳せています。また、三刀屋川堤防、丸子山公園、加茂中央公園など市内各地に桜並木があり、地域の皆さんに親しまれています。そのほかにも、三刀屋町の御衣黄桜、加茂町三代の枝垂れ桜などの珍しい桜や巨木など地域で親しまれている桜も多く、市内全域の山々には山桜が自生しています。このように雲南市民に広く親しまれ、全国にアピールできる花として桜を選定しました。



市の木

いちよう

イチョウ科イチョウ属
平成18年12月21日制定

【選定理由】いちようは、落葉高木で秋には黄色く色づきます。樹齢は、500～600年といわれ、生命力にあふれた樹木です。また、病害虫にも強くこの地域の気候や風土にも適した育てやすい樹木です。高さが20～45mと高く、天に向かって伸びていくその姿は威風堂々として美しくかつ雄大で、まさに雲南市の限りない発展を象徴しています。市内では官公庁や学校、寺社の境内などに見られます。春の桜の美しさに対し、秋にはいちようの黄葉で雲南市の美しい景観づくりを進めたいという思いを込めて選定しました。

雲南市の歌 (平成26年11月1日制定)

姉妹都市

アメリカ合衆国インディアナ州リッチモンド市

(平成26年8月11日 姉妹都市協定締結)

雲南市へのアクセス

ACCESS



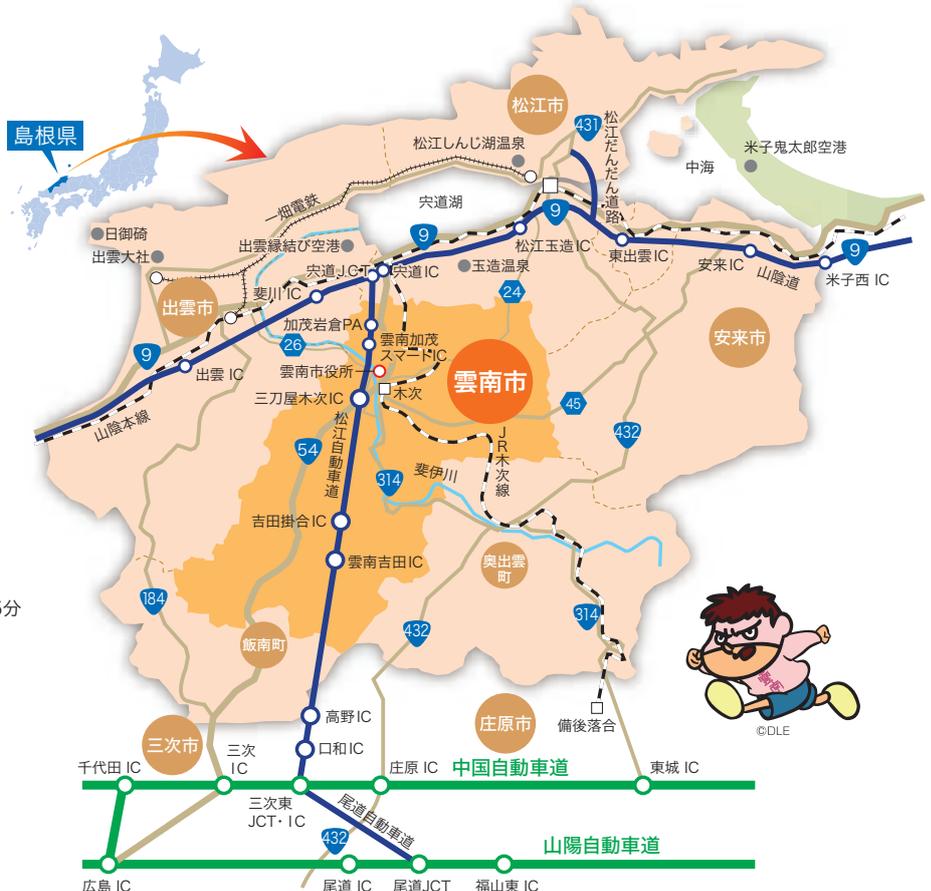
出雲縁結び空港から
車(タクシー)で約20分



- 〔JR松江駅から〕
JR木次駅まで約1時間
- 〔JR出雲市駅から〕
JR木次駅まで約1時間
- 〔JR宍道駅から〕
JR木次駅まで約35分



- 中国自動車道から
三次東JCT・ICから松江自動車道で約45分
東城ICから国道314号で約2時間
- 松江自動車道から
三刀屋木次ICから約5分
松江玉造ICから約35分
出雲ICから約30分



発行

島根県雲南市 〒699-1392 島根県雲南市木次町里方521番地1 TEL:0854-40-1000(代表)
https://www.city.unnan.shimane.jp/ e-mail:unnan-city@city.unnan.shimane.jp

発行年月

令和7年3月

雲南市
ホームページの
二次元コード

